



生徒会活動振興会

REPORT

事業報告書

令和六年度前期（第三期）
各部・各室活動報告

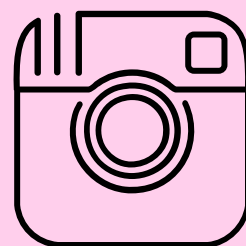
Oct, 2024



主要6部一覽



編集部



広報部



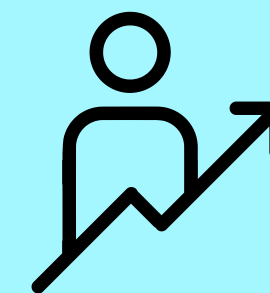
企画部



アンケート部

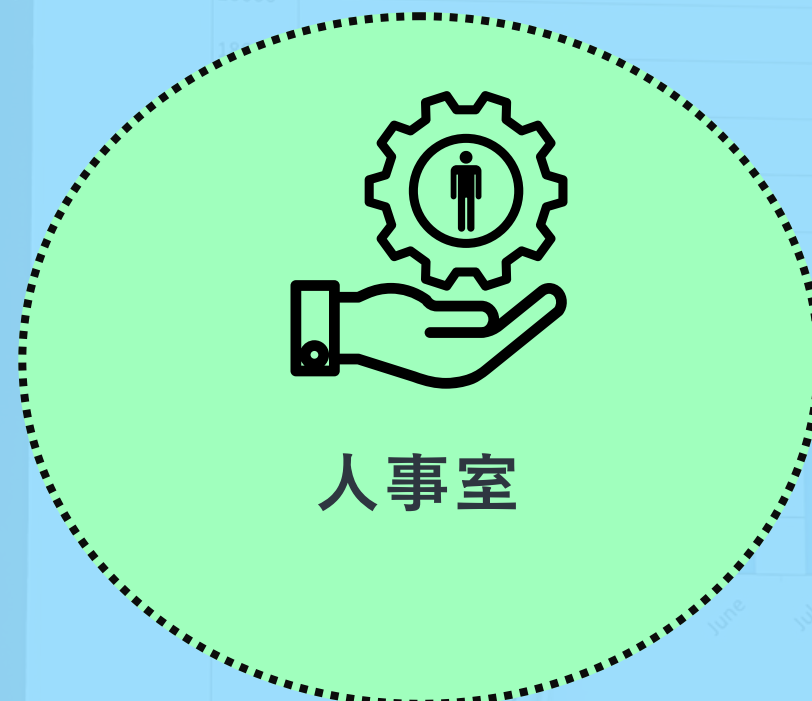


営業部



活動支援部

総務局4室



編集部

生徒会活動において、取材を実施し、記事作成を行う。

総括

編集部では、様々な学校の生徒会活動取材し、記事として発信しました。現在、生徒会組織や生徒会の活動内容については社会的に認知されているとは言い難い現状があります。そのため、編集事業によって各学校の特色ある活動を生徒会関係者だけでなく、それ以外の人々にも発信することを目指しています。

項目	多摩生徒会協議会の交流会 記事執筆【コラム記事】	全国生徒会大会の記事執筆 【コラム記事】	N/S高校生徒会の記事執筆	北関東生徒会交流会の記事執筆 【コラム記事】
実施目的	都内中心に影響力を持っている多摩生徒会協議会の交流会の様子を発信する為。	生徒会界隈で最大級の生徒会イベントの様子を発信する為。	2022年度から発足したN/S高校生徒会。生徒数が2万人であったり、使える予算が1000万円であったりと前例のない活動について広報する為。	新たに発足する北関東交流会の様子を発信する為。
実施内容	振興会メンバーの現役生が生徒会団体のイベントへ参加し、参加者目線でのイベントの様子をコラム記事にした。	中高生の振興会員が参加者としてイベントに参加した体験談を記事にした。	通常記事執筆	現役生を中心に生徒会団体のイベントへ参加してきてもらい、参加者目線でのイベントの様子をコラム記事にしてもらう。
実施時期	取材日時 4/28 公開日 6/4	取材日時 3/25 公開日 7/1	取材日時 2/1 公開日 7/13	取材日時 3/10 公開日 7/21
成果 (9/9 17:00時点)	297ビュー	201ビュー	前半 203ビュー 後半 213ビュー	154ビュー

広報部

生徒会活動振興会の活動を周知し、生徒会活動に関する情報を発信。

総括

Instagram、X、YouTube、LINEの4つの媒体を主軸として広報部は運営を行いました。様々な媒体に広げ、様々な方法で広報を行うことができ、次にもつながる良い期間となりました。どの媒体も基盤を作ることができ、今後大きくつなげていきたいと思えます。

項目	instagram事業	動画制作 (YouTube) 事業	X (旧Twitter) 事業	LINE事業
実施目的	<ul style="list-style-type: none">生徒会活動振興会の魅力をより多くの人に発信する。生徒会活動振興会の企画・記事を多くの人に知ってもらう。他団体や学校とDMによりつながりを持つ。	<ul style="list-style-type: none">生徒会活動振興会を知ってもらう機会を増やすため	<ul style="list-style-type: none">Instagramを見ない層への広報。URLの直接貼り付け等をはじめとした便利な機能を利用するため、今期運用を開始した。	<ul style="list-style-type: none">Instagramを見ない層への広報note記事への誘導。複雑なツールへの対応。(生徒会診断)
実施内容	記事広報、イベント告知、他媒体の引用・誘導、他団体とのつながり構築、DM運営、ストーリー投稿	ショート動画・ロング動画の作成や投稿	① 生徒会関連の投稿の告知 ② イベント等の広報 ③ 最新記事の広報 ④ 過去記事の紹介	企画実施の告知、記事の配信 (ジャンル分けボタン)、生徒会診断の公開、その他LINE全般の運営
実施時期	通年実施事業	通年実施事業	通年実施事業	通年実施事業
成果	記事、イベント、動画などを投稿した。	振興会のPR動画とラジオ動画を公開できた。	Xの運用は今期が初めてだが、たくさんの投稿ができた。	複雑なツールを使った配信を行うことができた。

企画部

生徒会活動に関するイベントを開催。生徒会活動の悩みを解決する。

総括

企画部では、「学校に帰っても得た知識を活用できるイベント」を目指している。チームごとに分けたことが良い効果をもたらし、良いイベントになったと思う。イベント開催におけるチェックリストなどを作成し、より効率化したうえで第三弾や新しいイベントをやっていききたい。

項目	君と知り合うはじめての一步 in関西	あつまれ学校のリーダーズ vol.2
実施目的	二校間交流を活用し、学校同士の出会いの第一歩となることを目指して、企画を行った。今回は、3月に行われた第一回の次なるステップとして、第二回を行った。また、出会いの一步ということを重視して、一か所ではなく、様々な地域で行いたいという思いから近畿地方で開催することとした。	日々のやるべきことに忙殺されてしまい、自校の生徒会について見直す機会は少ない。「なにかをやろうとしても何からやればいいのかわからない。」という悩みを解消し、今後どのような活動をしていけばいいのか、1日立ち止まり、皆で考えることを目的とする。
実施内容	生徒会活動を行うにおいて、外務活動をより活発に行う為に、生徒会同士の出会いに着目し、行うイベントである。関西地方の生徒会役員を集め、短時間の二校間交流を複数回行う。	昨年12月に第一回を行った。前回、分析によって見つけた課題を踏まえ、今回は解決方法を考え、解決方法の実行プランを考えるプログラムを作成した。体験型のワークも行い、大学生メンバーの経験を活かしたイベントを心掛けた。
実施時期	準備時期：2024年4月～2024年7月 実施日：2024年8月2日（金）	準備時期：2024年5月～2024年8月 実施日：2024年8月27日（火）
成果	13人来場、6校参加 二校間交流が初めての参加者もあり、企画としての満足度が高かった。	8校、20名参加 計画立案編としていいプログラムを提供できた。

アンケート部

総括

昨年の夏に第一弾の生徒会診断を作成しました。その際は、2タイプのみシンプルなものを作成したので、昨年冬にあつまれ学校のリーダーズでプレ版を作成し、2024年6月に第二弾として、8タイプに分けた診断を公式ラインにて作成しました。馴染みやすさと自己分析をテーマに作成し、配信しました。

生徒会診断により生徒会活動についての現状分析の機会を提供。

項目	第二弾生徒会診断事業
実施目的	生徒会役員の皆さんに、自分の学校の生徒会を簡単に振り返りどんな生徒会かを知ってもらうことを目的とする。
実施内容	2択で10問前後の生徒会に関する質問に答えてもらい、8つのタイプのうち、どのタイプかをラインで選ぶ診断を作成した。
実施時期	2024年6月から
成果	随時集計中

営業部

生徒会活動振興会の運営資金調達部門。

総括

今期は営業部の活動をあまり進めることができなかった。その責任は部長である望月にあると考えられる。もう少し活発に営業部会などを開くなどの工夫をすれば良かったと考える。また、営業部のメンバーはいつも忙しいメンバーが多くいる。また、なぜか参加しないというメンバーも存在する。そのためいかに活発に活動していくのかこれは今後の営業部の課題となるだろう。次の営業室長に期待する。

項目	クラファン事業	その他協賛獲得事業
実施目的	本会の活動をする上で必要なお金等を獲得するためにクラウドファンディングを通してお金を獲得する。	右に同じ。
実施内容	クラファン申請	協賛先ピックアップ 経験のある方からアドバイスをもらう。
実施時期	2024年6～9月	2024年3期開始～6月
成果	クラファン申請を進めている。	特になし

活動支援部

生徒会活動において、取材を実施し、記事作成を行う。

総括

活動支援部は2024年4月15日に設立され、特定団体支援事業を実行してきた。具体的には、福岡生徒会交流会（旧：九州生徒会連盟）と東北生徒会交流委員会に対し団体設立支援等を行ってきた。また、生徒会会談に対し企画支援もっとU毎に自走できる環境を整えるべきであったが、不完全なまま終わってしまった。

項目	生徒会会談支援事業①	生徒会会談支援事業②	福岡生徒会交流会支援事業 －企画支援－	福岡生徒会交流会支援事業－組織設計・ 企画運営・企画立案支援及び広報監督	東北生徒会交流委員会支援事業
実施目的	それぞれの学校の特徴を考え直し、自校を見直すきっかけを作る。また、他校に自分の学校を発信する場を作る。	全国の生徒会役員に対し企画立案の手順等を教えることにより、企画能力の向上を目指す。	福岡生徒会交流会立ち上げへの流れを作る。	福岡県内における生徒会活動と渉外活動の発展を目指す。この事業を団体設立のモデルケースにする。	支援をすることによって、東北の活動する生徒会役員とつながりを高め、さらなる支援を目指す。
実施内容	生徒会会談と共同でイベントを立案し、実行した。	生徒会会談と共同でイベントを立案し、実行した。	企画の主催し、機材面でのサポートを行った。	幹部ミーティングへの参加や、団体設立発起人として支援を行った。	東北生徒会交流委員会と連携を開始し、事業開始のための準備を行った。
実施時期	6月3日 企画実施	5月10日 企画目的決定 5月27日 企画内容決定 6月9日 企画当日	5月2日	4月→ヒアリング等 5月→支援体制構築 8月→福岡生徒会交流会の幹部再招集。支援強化	7月 支援事業開始。 9月 事業内容策定・実施
成果	弱い紐帯と強い紐帯の重要性などについて情報共有を行った。	生徒会会談及び企画参加者（16名）に対し、企画立案の手法を伝達した。	企画実施・連携関係の構築	連携関係の構築	今後、本格始動予定

総務室

生徒会活動振興会の縁の下の力持ち。裏方事務を広範に担当。

総括

総務室は、本会の内部運営事務を広範に行う部署であり、今期は主に会員総会の運営業務を担当した。今期においては、全4回の総会を開催し、いずれも無事に終了することができた。

項目	会員総会の運営
実施目的	総会の円滑な進行、欠席者に対するフォロー
実施内容	出欠席の確認、事後フォームへの回答依頼
実施時期	総会の前後1週間程度 (第1回総会開催時(4月中旬)、第2回総会開催時(5月中旬ごろ)、 設立総会時(6月初旬)、第3回総会開催時(8月中旬ごろ))
成果	無事に総会を開催し、事後アンケートを実施することができた。

人事室

生徒会活動振興会の会員に寄り添う。

総括

1on1の仕組みづくりなどのもともと経験のある仕組みづくりにはそこまで苦労はしなかったが、つくったしくみを運営する際に難が見られたため、持続的に活用できる方法を再度検討していきたい。また、団体の課題としてよく出てきているメンバーの声を反映させるためにも1on1を実施していたが、この課題が改善したとは言いにくいいため、仕組みの方もあわせて改善していきたい。

項目	各部1on1事業	MVP設計事業
実施目的	1on1を実施する目的は、部員の成長を促進することです。さらに、将来なりたい姿を共有してもらうことで、中長期的にやるべきことを明確にし、部員自身の自己実現を行うことができます。また、1on1を通して部員が自走することで、長期的な組織力の強化を図ることもできます。	振興会メンバーとしての活動を評価し、振興会の文化をメンバーにも浸透してもらうため
実施内容	<ul style="list-style-type: none">頻度：1人に対して1カ月に1回30分資料(各部のフォルダ内にあります)1on1	<ul style="list-style-type: none">sakazukiさんと人事評価制度であるMVPの評価項目等の設計を行った。
実施時期	2024年5月-2024年8月	設計：2024年4月-2024年8月 実施：2024年10月
成果	<ul style="list-style-type: none">1on1シートでの振興会メンバーの現状確認&メンバー同士の紐帯の強化	現時点で16名が回答 ※2024年9月26日11時13分時点

情報技術室

振興会内の技術関係の整備、対外的な活動の基盤整備を行う。

総括

情報技術室は比較的仕事量が少ないが、突発的に増えることがあるような形が多かった。有事の際もしっかり対応出来たから問題ないと考える。来期NPOになった時にはGoogle workspaceやMicrosoft365の導入が入るためこの状態を維持しながら活動を続けていきたい。

項目	Discordサーバー運営事業	HP・メールサーバー運営事業
実施目的	本会の活動を円滑にするため。	本会の活動を円滑にするため。また本会の活動をHPに載せることで本会の活動を広報するため。
実施内容	Discordサーバーの維持	メールサーバーの維持
実施時期	常時	常時
成果	特に障害を起こすことなく運営できた。	HPを検索した際にGoogleに表示されるようにした。 (Yahooでも表示されるようになっていた) メールサーバの運用を問題なく実施した。

法務室

めざせ特定非営利活動法人。生徒会活動振興会の法の番人。

総括

生徒会活動振興会をNPO法人化するという大きな目標に取り組み、東京都への申請を無事に終えたということが、今期の法務室の活動として最大の出来事であった。今後もより明確な規則の作成及び監視を行い、振興会全体が円滑に活動を行えるようにすることが今後の課題であると考えている。

項目	NPO法人化事業
実施目的	法人格を取得することで社会的信用を高め、より幅広い活動を行うことができるようにすること。 また、会員のモチベーションアップにもつながる。
実施内容	定款、事業計画書、名簿の作成 設立総会の開催等
実施時期	4月～7月
成果	設立申請を終え、無事に受理されたこと

生徒会活動振興会

Thank you

ご覧頂き、ありがとうございました。

作成：生徒会活動振興会 広報部